

2022 年度平和カンパのご報告

パレスチナ・ガザ地区

ナワール児童館の活動

特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン

空爆の犠牲となった少女

2022 年は 8 月におきたイスラエル軍による大規模空爆の中で、児童館に通っていた 11 歳の少女が巻き添えになり亡くなりました。児童館に通う子どもが犠牲になったのは初めてのことで、身近な子どもの突然の死に、子どもたちも指導員も非常に大きなショックを受けました。子どもたちは、亡くなった少女のことを忘れない、と追悼の行事をしました。

子どもと母親の居場所として

また、2006 年以来続いている軍事封鎖のため、ガザの社会経済や人々を取り巻く状況が大幅に改善されることはありませんでした。こうした中で、子どもや母親が抱える不安やストレスを和らげていくことは、児童館の重要な役割の一つです。

●児童館活動

リクリエーション、学習支援、音楽、図工、スポーツ、演劇、パソコン、夏休みのイベントなどの活動を実施し、子どもたちが積極的にコミュニケーションをとり、自分の意見を発表したり、リーダーシップを発揮したりする機会を作りました。

遊びや学習、表現活動を通じて不安やストレスを軽減し、心理状態が安定するように努めるとともに、身近な課題や社会的な問題にも目を向けて世界に発信するなど、次のアクションに移すことが目標です。2022 年は「環境問題」を児童館全体のテーマとして、浄水場への遠足、ペットボトルなどからリサイクルした工作、環境をテーマにした演劇などにも取り組みました。

また、障がいのある子どもたちも一緒に参加できる環境作りを心がけています。

●母親やコミュニティとの関係強化

様々な問題に直面している母親の状況や子どもとの関係改善を目指し、夏休みのイベントや社会科見学などは親子で参加できるようにしました。母親同士のコミュニケーションの機会作りや、悩み相談ホットラインといったコミュニティに開かれた活動を継続しました。

ご支援に感謝いたします

パルシステム東京の平和カンパは、教材購入、イベント経費、児童館運営費（事務用品、電話・インターネット代、電気水道代、自家発電用燃料費、指導員人件費など）として活用させていただきました。心から御礼申し上げます。



8 月の空爆で亡くなった
ラヤンさん

